

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会
2008年度第2回図書館サービス・システム委員会議事録

日時：2008年6月6日(金) 13時40分～17時10分

場所：名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館

出席者：尾崎友子（名古屋女子大学）、濱口庸介（愛知大学）、栗木良次（愛知学院大学）、
木村倫代（愛知学泉大学）、小川真智子（愛知工業大学）、小嶋智美（愛知淑徳大学）、
鈴木卓美（金城学院大学）、高木陽司（中部大学）、藤井智夫（東海学院大学）、
保富洋子（豊田工業大学）、中島慶子（豊橋創造大学）、守田正江（名古屋外国語大
学・名古屋学芸大学）、石田信（南山大学）、加藤直美（愛知工業大学）
委員長 ホームページ委員

計 14 名

記 録：栗木良次（愛知学院大学）

【協議事項】

1) 2008年度実務担当者研修会について

小嶋委員より、事前配布された研修会開催案内文章（案）および各ワーキンググループ企画案（最終）につき説明があり、文章形態の確認と記載内容の一部変更を行った。また、案内文章の発送を6月9日の週内に行い、参加申込書の提出期限は尾崎委員長宛で7月4日とすることとした。参加申込者には後日、詳細文書（バスの時刻表、部屋割表等）を送付する。

研修会運営担当者について、初日の犬山駅でのバス担当者を2人体制にするため、栗木委員を新たに配役、また機材設営に高木委員が追加された。撮影係用のデジタルカメラおよび記録係用のICレコーダーについては、委員校で準備する。

初日のスケジュールについて、委員の集合時間を9時に繰り上げる旨説明があった。

その他、参加希望者のうち、宿泊を希望しない者は参加費を10,000円とし、講演など一部プログラムのみへの参加は原則認めないこととした。また、2日目講演者である仁上幸治氏（早稲田大学）は初日から参加することになった。

2) Web ツール研修会について

鈴木委員より、7月25日（金）午後から中京大学（会場未定）で開催予定の同研修会につき案内予定資料を基に説明があった。2番目のプログラムが未定であるため、国立国会図書館の“PORTA”作成関係者等候補が挙がったが、決定には至らず、6月13日までに候補者がいる場合は、ML上で提案することとなった。

一案として、リンクリゾルバ関連の企業（5社を予定）を招き、持ち時間の中で説明を行ってもらう案が出された。

併せて、尾崎委員長から当日の午前中に臨時の委員会を開催し、ホームページのリニューアル

アルに向けての打ち合わせを行うことが提案され、承認された。

3) アンケートについて

保富委員より、アンケートの設問につき(カテゴリーを分ける等)前回からの追加・見直し項目の説明があり、再度各委員の意見を求めながら記載内容を確認し、確定した。

7月下旬に回答依頼し、9月末締め切るスケジュールを進める予定。集計結果は、12月の研究集会で研究発表の形で実施することを確認した。

4) 委員会今後の運用について

尾崎委員長より、次年度より見直しが図られる新委員会の体制について、配付資料を基に現状との比較を示しながら説明があった。

今後のワーキンググループでの動向は、随時報告される。

5) ホームページについて

協会ホームページ委員を務める愛知工業大学加藤氏より、以下の3点報告があった。

加盟図書館名簿の変更について

これまで、協会ホームページに公開している名簿と各協議会の名簿を別ファイルで運用していたが、今後は協会のファイルで一元管理することが承認された。一元管理することで、作業の省力化を計ることが目的である。

契約サーバーの容量アップについて

契約変更にともない容量を60G(ギガ)へ増強した。

現状では使用量が少ないので、今後様々なコンテンツを入れていく予定。

ホームページ委員会の構成について

次期以降の同委員会について、今期の委員構成を継続することが承認された。

につき、現行の東海地区加盟館名簿と構成(並び順、図書館ホームページへのリンク方法等)が異なるため、今後阪神地区の名簿を参考にしながら担当委員により試作することが提案され、承認された。

以上